

第12回 新泉・和泉地区小中一貫教育校設置協議会会議録（要旨）

会 議 名	第12回新泉・和泉地区小中一貫教育校設置協議会
日 時	平成24年1月30日（月） 午後2時～4時
場 所	和泉中学校 視聴覚室
出 席 者	協議会委員26名（欠席4名）
区 関 係 者	教育改革推進課長 関係職員
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 小中一貫教育校の校名決定に関する委員意見について 2 特色ある学校づくり（小中一貫教育）について 3 小中一貫教育校建設に係る工事スケジュール等について 4 その他
資 料	<p>（資料1）小中一貫教育校の校名決定に関する委員意見について</p> <p>（資料2）3校の沿革について（学校HPより抜粋）</p> <p>（資料3）「和泉」の地名の由来について</p> <p>（資料4）工事工程について</p>

会長	<p>これから第12回新泉・和泉地区小中一貫教育校設置協議会を開催します。初めに、事務局から本日の予定について説明をお願いします。</p>
教育改革推進課長	<p>皆さん、改めまして、今年もよろしく申し上げます。</p> <p>配付資料の確認をさせていただきます。次第と、資料1の小中一貫教育校の校名決定に関する委員意見を簡単にまとめたもの、資料2の3校の沿革について(学校ホームページより抜粋)、資料3の「和泉」の地名の由来についてを事前に送らせていただいています。あと本日お配りさせていただいているものについては、緑の「杉並区立新泉・和泉地区小中一貫教育校の開校に向けて」という報告書が最終的にまとまりましたので、(きょうの資料として)乗せさせていただきます。</p> <p>具体的にこれに基づきまして、2月8日の教育委員会に、2月28日に区議会の文教委員会に、基本設計についてご報告させていただいて、いろいろなご意見をいただく予定です。</p> <p>それと「小中一貫教育ニュースレター」の第9号と、ピンクの「新泉・和泉地区小中一貫教育校設置協議会ニュース」、次第と席次。A3版の「新泉・和泉地区小中一貫教育校工事日程」です。</p> <p>本日の予定ですが、前回の協議会で皆様にご発言いただいた校名決定に関するご意見について、一覧としてまとめましたのでその報告と、当日欠席の方もいらっしゃいましたので、今日出席の委員の方々からご意見をちょうだいしたいと存じます。</p> <p>また、次第にあります「特色ある学校づくり」については、現在区内の各学校から教育委員会に対してどういう学校づくりをしていくか、学校ごとに、あるいは複数の学校で共同してプレゼンテーションをいただいています。新泉・和泉の3校につきましては、3校合同でその取り組みに対する説明が行われましたので、委員の皆様にも同様に報告させていただきます。</p> <p>その他、工事に関連した日程、事前配付した各種資料についてご説明させていただきます。</p>
会長	<p>議題1の小中一貫教育校の校名決定に関する委員意見について、事務局からご報告をお願いします。</p>
教育改革推進課長	<p>小中一貫教育校の校名決定に関する委員意見についてご報告をさせていただきます。</p> <p>前回ご発言いただきましたものを資料1の委員意見と、3校の沿革についてご説明させていただきます。</p> <p>前回、それぞれの学校の歴史、この地域の歴史を踏まえて校歌、校名、校章も決めていくべきだということで、簡単なものですが、ホームページ等に乗っているものを出させていただきます。</p>

だきます。

まずは一番古い杉並区立新泉小学校のこれまでの沿革です。(資料2の説明)大正14年3月5日に豊多摩群大宮尋常小学校和泉分教場として授業が開始されています。その後、平成15年5月に豊多摩群和泉尋常小学校として開校しました。

その後、東京市に変わったときにエリアが広がった関係で、ほかに和泉尋常小学校があるということから新泉尋常小学校と校名を変更し、18年7月には東京都新泉国民学校と校名が変わっています。

戦後の22年4月に杉並区立新泉小学校と校名の変更がされ、その後ずっと続いているわけですが、36年4月には特殊学級を設置し、40年3月に体育館が落成しています。

現在の鉄筋校舎の改築が49年7月で、その後(平成)17年4月から小中一貫教育の試行研究開始というような状況です。

続きまして、和泉小学校です。昭和33年、杉並区立新泉小学校の中に和泉分校としてまずは設置されました。その翌年、杉並区立和泉小学校として開校しまして、校歌が開校から2年遅れた36年に制定されています。

その後、平成13年に校庭芝生化・ピオトープの工事が完成し、今の和泉小の校庭芝生がこのときから続いて、22年で校庭開きから10年を迎えたという状況になります。校名等については、戦後ですのでそのまま引き続きという形になっています。

最後に杉並区立和泉中学校です。昭和33年、泉南中学校内に杉並区泉南中学校分校として設置されました。その後、昭和34年に杉並区立和泉中学校として独立しています。昭和33年9月には伊勢台風のため床上80センチ浸水したとか、40年6月と9月に豪雨や台風のため床上5センチ浸水、また41年にも台風4号のため床上40センチ浸水、9月26日も同様に浸水ということで、この間何度も水につかってしまうという中で、現在は建て直されています。昭和59年に新校舎を落成し、職員室などの機能を全部2階に持つような、少し盛り土をして高くした形で開校して、現在となっています。

(資料3の説明)今度は「和泉」の地名の由来ということで、昔ここは武州多摩群和田村、堀之内村、和泉村、永福村の4つの村の1つであったのが、明治22年の町村制施行の際にこの4カ所が統合されたことによりまして和田堀之内村になり、和泉村は和田堀之内村大字和泉という位置づけになりました。昭和7年に改定されて和泉町となったという経緯です。

この和泉村の名前の由来は、「泉」という漢字だけでも「いずみ」と読みます、「和泉」の「和」はよいという意味があるので、「いい泉のあるところ」ということで現在の漢字の和泉が使われたということです。

もともとの由来は熊野神社近くにある貴船神社に泉があったことから来ているというようなお話が出ています。そういった中で和泉に改編されて、現在に至っているという状況になっています。

簡単ではありますが、経緯をご説明させていただきました。

つぎに小中一貫教育校の校名決定に関する委員意見、資料1についてご説明します。

前回にこれから校名等を決めるに当たり、皆様から一言ずつご意見をいただきました。大きく分けますと、校名の決定方法に関する意見、校名と学園名のどちらから決めるかという決定順に関する意見、また具体的な校名に関する意見のおおむね3つに分けられるものをいただきました。

分類の仕方がまざっているところもありますが、主に前回出席いただいた方々からは、校名の決定に関する意見につきまして、学校のことなので子どもたちに候補を挙げてもらい意見を聞いて、協議会の中で絞って選定したほうがいいのではないかとこのことを複数の委員の方からいただきました。

一方で、子どもの意見を聞くことになってしまうと、もしそれがかなわなかったときにいろいろあるので、逆に言えば協議会で案を決めてアンケートを実施するほうがいいのではないかとのご意見もありました。

また、多くの委員の方から、両校の関係者にとって納得できる形、あるいは公平な名前や不公平感のないような形でじっくりと慎重に決めてほしいというようなご意見をいただきました。前回もさまざまなご意見がありましたので、校名については慎重に決めていければと思います。

また、決定順においては、前回の皆様の意見の中では、まずは学園名からがいいのではないかと。(発言のあった)お三方とも、学園名が最初になるので学園名を決めて、その後に新泉小と和泉小の正式な統合名称を決められればいいのではないかとのご意見をいただいています。

また、具体的な校名に関する意見は、同窓会などの組織もあるので意見を聞きながらとか、あるいは具体的に和泉学園と言いますと全国に複数あるので、ここ杉並区の和泉にあるので杉並和泉学園という名前をつけるのがいいのではないかとか、あるいはここは和泉小の芝生が有名なところなので「何々みどり」というような形でつけるのがいいのではないかとこの個別の名前、あるいは学園名や学校名にやはり地名を入れたいということ、逆に下から2つ目にあるように学園名は皆様から応募してもらうにしても、条例上の学校名は新泉の名前を残してほしいとか、やはり和泉の名前を残してほしいとか、それぞれ思いのある中で具体的なご意見をいただいたところです。

こちらを踏まえまして、前回ご欠席の委員の方が7名いらっしゃいますので、今回の意見をご参考にしながら、その方々からも一言ずつご意見をいただ

	ければと思います。
会長	<p>前回ご欠席の委員からご意見をちょうだいしていいですか。それから、全体の意見を聞くと。よろしくお願いします。(欠席委員順番にご意見をいただく)</p>
委員	<p>資料1に「今ある新泉小学校が物理的になくなってしまうことを悲しむ人は多い」という文章があります。私もいま和泉地区学校支援本部ということで、自分としては3校を平等に考えていますが、子どもや主人が新泉小学校を卒業しています。新泉小学校の校舎も新泉という名前もなくなることは、やっぱり感慨もひとしおです。決まった暁には何も言わないと思いますけれども、できましたら新泉という名前を残していただきたいという気持ちでいます。</p> <p>あの地域には公的な施設が1つもなく、新泉小学校だけが合った地域です。なくなるとしたら、何一つ残すものがないことになります。新泉の児童数が少なく、統廃合の対象になるのはいたし方ないと思う気持ちもありますけれども、人数の比ではなく、地元の方たちの強い願いもかなえていきたいと思えます。ぜひそこをお考えいただければと思います。</p> <p>どういうふうに(校名を)考えるかというのは、具体的にはなかなか言えないところですが、ぜひ考慮をお願いします。</p>
委員	<p>学校の名前については、確かにここにも新泉小の卒業生がたくさん同席していますけれども、名前に新泉を残すとすると、どこぞの銀行の合併みたいにただくっただけみたいになってしまって、ちょっとどうかなという感じがします。</p> <p>名前だけでなく、我々地元のシンボルであった新泉小を何かの形で、前にも言いましたように記念館とか記念展示室みたいなものをつくるとか、そういう形で新泉小の名残を保持したいという気持ちは強いです。</p> <p>名前については和泉も新泉も「泉」の字が入っていますので、あまり奇抜な名前とか、ただくっただけの名前よりは、「泉」という一文字が入ったものであればいいのではないかという気はします。</p> <p>学校名の決め方についてはこちらに幾つか案が出ていて、それぞれ納得できる選択肢なので、この中からみんなで討議すればいいと思います。以上です。</p>
委員	<p>校名につきましては和泉地区では一番古い学校で80年からたつわけですから、やっぱり新泉の名前をどこかに入れた校名をつけていただきたい。それは私の望みであり、いま同窓会の会長をやっていますが、(同窓会でも)そういう望みが多いんじゃないでしょうか。</p> <p>全然別個の名前にしてしまうと、新泉はどこにあったのだろうと先行きわからなくなります。歴史がある学校だから、新泉の名前をどこかに入れていただきたいということです。</p>

委員	<p>校名については、校名だけを考えてどうするかという議論ではないと思います。要するに、どういう教育理念に基づいてどういう学校になっていくかという中で、小中一貫教育を行うという教育内容で学校ができ上がるんだということがありますので、名前が先行するよりもそういったことをできるだけ反映するような名前がいいですが、それはかなり難しいことだと思います。</p> <p>小中一貫教育の中身というのは、生意気なことを言うようですが、最近では生涯学習ということから社会教育という観点で教育を見るという見方があります。合併すると、社会教育性というか、生涯学習がより高まってくるという特色が強くなる教育になっていかざるを得ないというか、なっていくだろうと思います。そういった観点から見て、どういう校名がいいかということです。</p> <p>前回いろんな意見が出ていますけれども、和泉や地域の歴史を踏まえる名前とか、そういうようなことがいいと思います。例えば地球学園とか、そういった教育に関係ないようなものじゃ哲学がないというか、若干は哲学があるような感じの名前のほうがいいんじゃないかと思います。</p>
委員	<p>私も新泉小学校の卒業生です。周りに聞きますと、どうしても「新泉の名前を（残してほしい）」という声が大きいです。我々がいたころは昭和20年に1回焼け出されまして、新しくできたものが新泉小学校という名前になりました。ほとんどが新泉の卒業生ですので、ほかの名前と言われてもちょっとぴんとこないのです。我々の年代だと新泉の名前をどうしても残したいという希望が大きいです。一応そういうところで、よろしくお願ひしたいと思います。</p>
委員	<p>新泉小学校とか和泉小学校という名前を残したいという気持ちも理解できます。けれども、新しい小中一体型の学校ができるに当たっては、思い切って新しい学園にふさわしい名前をつけるのも1つの方法であるという意見を強く持っています。</p> <p>ただ、新泉の卒業生の方や和泉小学校の卒業生の方の学校がなくなる寂しさというのは両校共通していると思います。どうしても何らかの形で残したいというのであれば、個人的には例えば新泉の「泉」と和泉の「泉」という共通した文字をとって、「和泉学園」という方法もあるのではないかと思います。</p> <p>もろもろの感情はあると思いますけれども、この際、新しい学校にふさわしい名前を考えるのも1つの手ではないかと思います。</p>
委員	<p>私は去年来ましたが、ここに最初からいますので和泉という名前のほうにすごく愛着を感じています。ただ、先ほど申されたように新泉の「泉」と和泉の「泉」は同じなので、その辺から何とかならないかといつも思います。安直に考えてしまえば、新泉・和泉とか、和泉・新泉と2つの名前をつける。どちらかを消すことを前提に考えると、なかなか話が進まない。そうすると、両方も生かすことも1つ考える必要があるのかなと。</p>

	<p>決め方も、子どもに何らかのかかわりを感じさせるという意味で参加させたほうがいいと。もちろん子どもに決定権はないと思いますが、自分たちの学校だという意味の参加した気持ちを持たせるのも大切だと思います。</p>
会長	<p>それでは、いま出たご意見と、先ほど課長から出ていた意見のある程度まとめたものも含めて、ご意見等がありましたらお願いします。</p> <p>決め方ですとか、そういうことについてご意見をちょうだいして。きょうここで何かするという話ではないですから。この間も課長に「どのぐらいの日程で」という話をした際に「来年度いっぱい」ということで、そのスケジュールで決まればその後も十分間に合うということでしたので、それまでに決まればいいだろうと。そういうスケジュールを考えています。</p> <p>永福と永南のほうはやっと決まったような状況ですので、そのぐらいの日程でも間に合うということは言えるんですけども。来年度いっぱい、平成25年3月末までに決まれば。</p>
委員	<p>子どもたちの意見を聞くということにとっても共感します。決定権ではなく、広く皆さんに問いかけるというのは、1人の意見であってもこれいいねというものがあれば前に進むと思いますので、ぜひそっちまで聞いてみてください。</p>
会長	<p>子どもの意見を（聞く）ということですね。</p>
委員	<p>そうです。</p>
委員	<p>基本的な形だけこの設置協議会の中で決めて、幾つか候補を挙げて、その中から地域の子どもたちにアンケートをとるといった方がいいんじゃないかと思います。</p> <p>というのは、そこに行く、行かないは別としても、自分たちの地域の学校だという意識を強く持ってもらうためには、やはり校名を決めるところに少しでも参加したという意識があるのとないのでは違うと思います。</p> <p>そういった意味でも、ゼロから子どもたちというのは難しいんですけども、ある程度この委員会で決めたものを投げかけることに関して、子どもたちの意見を聞くのがいいかと思います。</p>
委員	<p>いま皆さんが言っているのは小学校2つが1つになる、要するに卒業証書にきちんと書く正式な名前ですね。小中と2つ考えなければいけないわけで、言っているのは卒業証書に書く正式名のほうですね。それを考えて、また小中が1つになる。仮と言ったらいいいの、文科省に定められていない範囲の学校だけれどもというものをもう一つ考えなければいけないということですね。</p>
会長	<p>そうです。</p>
委員	<p>とりあえず2つの小学校が一緒になることについての学校名ということですね。</p>

会長	言っている方は、どっちと決めないで話していらっしやいますね。
委員	でも、2つは考えなければいけないわけですね。
会長	そうです。同じにしてもいいわけですけども。
委員	<p>絞らないとごちゃごちゃになるということと、こういう議論は大事なんだけど、例えば具体的にいつまでに出そうとある程度目安を決めてみんなが考えてくるとか、あるいはそれこそ生徒さんに聞いたら聞くで、アンケートでそういうことを知らせて、そういうスパンを少し考えないとまずいと。</p> <p>思いはわかったんだけど、それを形にしていくために例えば次回までに出してみましようとか、もっと具体的にやっていかないと話が進まない。皆さんの気持ちが出た学校名も出るかもしれないしということです。</p> <p>ちなみに、具体的にどうしようという名前はみんな考えていらっしやると思います。具体的な名前が出てきて決めていくようにしないと校歌とか校章なども全部動いていかないし、この場はどういう学校にしたいかを話し合った上で校名を考えていくとか、どういう名前にしたらいいかというアイデアを出すところで、次回までに考えてみましようとか、ある程度そういう流れがあったほうが動きがとれるかと思いました。</p> <p>個人的な意見としては、新泉の名前を残すということと比べると、「泉」は入っているから違う字という「新しい」をどう入れればいいのかとか、地域の名前を入れるために具体的に考えてくるじゃないですか。そういう具体例を出していかないと、ぴんとこないような気がするんです。</p> <p>具体的に出していくのは結構大変ですよ。最初の話は仮称で「和泉学園」とか言っていましたけれども、それがもっと具体的になってきたので、皆さんの思いをここで出してからそういうふう動きをとっていったほうがいいと思いました。</p>
会長	<p>それぞれご意見をちょうだいしたのは、そういう課題があるんだということで、日程的には来年度いっぱい余裕があります。いま言ったような問題があると。つまり学園名、小中一貫教育校、何とか学園にするのか何とか小中一貫教育校にするとか、いろいろやり方がありますが、前につく言葉、その名称をどうするのかということと、条例上の名称をどうするのかと。何々小学校、中学校ですね。そこが大きなところで、そのあたりをどういうふう考えていけばいいのか。同じにするほうがいいのか、それとも小学校についてはわかりやすく両校の名を残すようにするとか、いろいろやり方はあると思います。</p>
教育改革担当部長	<p>まだしっかり理解されていない方もいるかもしれませんが、小中一貫校としての通称の名前、小学校と中学校を合わせた通称の名前で、例えば平仮名の「いずみ学園」という名称にするのとは別に、それぞれ小学校2校が1つ</p>

	<p>になりますので、新泉小学校と和泉小学校を合わせた成績表に書く条例上の名前を例えば新泉・和泉小学校にするとか、漢字1つだけの泉小学校にするとかね。</p> <p>中学校のほうは1校しかありませんので、基本的には条例上も和泉中学校のままで行くことは全然問題ないです。</p> <p>そういうことで、通称名として、外から見た人がわかりやすいような小中一貫教育校の名称を変った名前で作るというのもあるし、地域の名称をつけるとかね。</p> <p>永福小学校と永福南の場合は今回名称が決まって、地域の名称ということで、新しい永福小学校という名前にしました。そういうふうにいるんな考え方があると思います。</p>
委員	<p>心は新しいけれども、見た目はやっぱり永福小で。永南の方たちは結構うまく流れたんですか。</p>
教育改革担当部長	<p>何回か議論をしながら、アンケート調査をやったりチラシを配って要望を書いてもらったり、インターネットとかファクスでも書いてもらったり、丁寧にやって最終的に決めます。</p> <p>そういう意味では、時間のほうはまだこれから十分ありますので、考え方としては通称名と条例上の名称、中学校は和泉中でそのまま行くとすれば、2つあわせた小学校の名称をどうするのかということで、じっくりと考えてもらえれば結構です。</p>
委員	<p>永福地区の場合、条例上の名前と通称の名前が決まったのですか。ちなみに何という名前ですか。</p>
教育改革担当部長	<p>永福小学校です。</p>
教育改革推進課長	<p>正式には設置条例ということで区議会にかけてからになりますけれども、永福地域の中では永福小学校でいきましょうという話になったので、こちらとしては尊重して、条例上の名称もそのまま永福小学校ということで改正する方向でいま進めています。</p>
会長	<p>あとはいかがですか。</p>
委員	<p>先ほどから子どもの意見をというのが出ていましたけれども、大人のほうもすごく関心を持っているような雰囲気でも乗り出しているところがあります。何に決まるという以前に、みんなが参加して少しでも納得して決めていかなと、後でああじゃなかった、こうじゃなかったということになると非常にまずいと思います。</p> <p>もう一つ、これからは生涯教育も踏まえて考えるという意見が先ほどありましたので、子どもだけじゃなくて地域の大人にも、何らかの形で「こういうぐあいに進行していますけれども」ということを報告しながら意見をいただい</p>

	て、それを入れていったらどうかと考えています。いかがでしょうか。
会長	地域の方の意見ということですね。永福・永南はどうされたんですか。
教育改革担当 部長	<p>区の広報にも載せていますし、永福小と永福南小学校が関係する町会は全部で2万世帯ぐらいだったかな。シルバー人材センターに委託してチラシを配って、ご意見やご要望がありましたら出してくださいと。あとはファクスとか、今回はメールが結構届きました。</p> <p>基本的には、地域の中の学校ということで地域の名前を入れたほうがいいんじゃないかというのは議論として一番多かったです。変なしゃれた片仮名の名前とか、わくわく学園じゃないですけども、そういうわけのわからない名前じゃどこにあるのかわからないし、愛着心ありません。そういう意味では、地域というのは皆さん共通の思いがあります。そういうことで、去年の秋ぐらいから議論を初めて、先月に大体固まりました。</p> <p>今回は3校ですから、そういう意味で、もうちょっと時間をかけて構わないと思います。皆さんがある程度納得するためには、時間をかけて議論したほうがいいと思います。</p>
会長	よろしいですか。今いろいろご意見が出ていますけれども、今後はそれぞれ考えるところを委員さんから集めて出してもらって、どのぐらいの用途と内容があるのかというのを一覧にするなり、何かしていく作業が必要になってくるかもしれません。
教育改革推進 課長	<p>おっしゃっていただいた決め方というのはさまざまあります。いろんな名前を挙げてもらう中で、これとこれの2つを選ぼうというやり方もあるでしょうし、最初に学園名をつけてその次に条例名を決めましょう、逆に条例名から決めて学園名を決めましょうと。あるいは皆様の中から、新泉の名前とか和泉の名前を残したいということであれば、両方並行してやりながらどちらかには必ず両方の名前を入れて、どちらかの名前を公募するとか、今回の場合は3校からですので決め方もかなり複雑になっています。</p> <p>いま言った中でもバリエーションがさまざまある中で、皆様からいろいろ出していただく。あとはそれを全体的に集めるのか、ここである程度出すのかという中では、この中でそれなりのものを出してからみんなで決めてもらったほうがいいのではないかとご意見が多くあります。</p> <p>じゃあ、どこから取っかかるのかというのもいろいろご意見を（いただければと思います）。取っかかりの仕方によって方向性もかなり変わってきますので、周辺からどうするかとか、さまざま考えていかなければいけないので大変ですが、それ自体も皆様のご納得をいただく形で進めていければと思います。</p>
委員	ここは小学校だけじゃなくて、小学校と中学校が一緒になるわけですから、

	<p>新しい学校ができたことが一番心に響くし、学園名が問題になるところじゃないかと思います。</p> <p>日程的にもあるので、まず最初に3校の生徒さんや保護者、地域の人全員に「この地域の中で新しい学園ができるんだけど、候補になるようなものを考えて出したちょうだい」という感じで出してもらって、そこからだんだん絞り込んで、ここで決めていくというやり方のほうがいいと思います。</p> <p>まず最初の段階で、みんなからそういう意識を高めていくということで全般的に投げかけて、それから絞っていったほうが決めやすいと。ある程度の形をとると、その形を決めるところで結構大変な作業になるんじゃないかと思いますが、いかがでしょうか。</p>
会長	<p>そういう形をとったところはあるんですか。</p>
教育改革推進課長	<p>前々回ぐらい、9月26日に資料2で、小中一貫ではなくて統合する場合の校名の決め方で想定される選定方法の中の1つで、フリーハンドで、校名であろうと決め方であろうとご意見を皆様から募り、かなり膨大な数になるので労力的にはかなりかかりますが、そういうところも確かにあります。</p> <p>天沼小学校もどちらかというと同じような協議会の中で、そのときは杉五小と若杉小という地域名が全く関係ない2つの学校でしたので、せっかく一緒になるのですから新しい学校をつくりましょうということを前提に幅広く全区的に聞いたということです。</p>
委員	<p>具体的にいついつまでに委員の中で名前を考えて提示するという方法をとったほうがいいのかというのが1つ。</p> <p>その中で、個人的には自分たちで名前を考えて提案したときに、トータルで何とか学園、何々小学校、何々中学校まで含めて意見を出したほうが(いいと思います)。バランスはあまり関係ないかもしれないけれども、トータルで考えるときに名前は大事だと思います。例えば何とか学園というような、ごろが全然合わないような名前が来るとよくないというのがあって、トータルで考えたほうが考えるほうも考えやすいと思います。</p> <p>委員が各自考えて意見を提出するときには、2つの校名、オフィシャルな何とか学園と何々小学校まで含めたものを考えてやったほうがいいと個人的には思います。ある程度出た中で、委員で決めて、それを地域の人たちや子どもたちに提示してアンケートをしたり、意見を聞くという方法がいいかと思います。もちろん時間をかけてということは大事なことで、地域とか子どもたちの意見を聞くことに時間をかけても構わないと思いますが、ある程度具体的な名前をどんどん決めていかないと、来年3月までといってもまだまだやらなければいけないことがいっぱいあるので、早め早めに進めていくほうがいいと思います。例えば次回の協議会が3月下旬なら、それまでに各委員が名前を考えると</p>

	<p>いうふうに具体的に進めていったほうがいいのではないかと思います。</p>
委員	<p>一番大事なことは、決め方を決めることについてどちらの視点で見るとい うことです。下から上に見るか、上から下に見るかという考えがありますけれ ども、下から決めていくというか、下を決めて、最後にその集約したものが何 とか学園という下部の意見の上に乗ったものを決めます。</p> <p>最初に「さあ皆さん、何とか学園を決めましょう」と言っても考えにくいと 思います。子どもに説明しても子どももなかなか考えにくだらうと、意見を 言えといえはそういうふうに思います。</p> <p>子どもの意見を聞くのは結構です。何を聞いて、最終的に何をまとめたいか ら子どもに意見を聞くという決め方です。最初から子どもに多数決で学園名を 決めさせるという決め方はあまり賛成ではありません。</p>
会長	<p>わかりました。今まで出てきた中で言うと、校名に関する議論としては大き く2つあって、先ほどから出ている学園名と条例上の校名をどうするのかとい うことです。</p> <p>両方を考えてもらって、それを集約していくほうがいいし、そのほうが進め やすいだらうと思います。片一方が決まっても片一方はどうなのと、別々に決 める問題じゃないと思います。決める順番に関しては、いま出たような決め方 がいいと思います。その辺の議論はよろしいですか。両方を一緒に出してい ただいて、その中から考えていくということで。</p> <p>もし特になければ、そういう決め方でいいと思います。</p> <p>あとは日程的なことですが、次回までに書いてもらって集めることも可能で しょうけれども、この後の予定等を考えた場合どうなんですか</p>
教育改革推進 課長	<p>日程的にはじっくり1年ぐらいいはということですので、次回までに。逆に言 えば、今までの議論を1回地域に戻すというやり方もあるでしょうし、とりあ えずは皆さんの考え方をもう一回述べてもらう上で、意見を出してしまって、 それからいろいろ議論してもいいと思います。時間的なものはあまり気になさ らないで、ゆっくりやっていただいて構わないと思います。</p>
会長	<p>この中のいろんな考え方は、なるべく同じ方向を向けるようにやっておいた ほうがいいと思います。次までにそれぞれの意見を出してもらうような形をと るのはどうでしょうか。</p>
教育改革推進 課長	<p>そうですね。それに対する考え方がそれぞれあると思いますので、自分はこ ういう考えのもとでこれを出しましたというのを皆様に出してもらって、それ から意見を踏まえながら集約し、ある程度絞ってから地域の保護者の方に聞く 形でも、それで決まるわけではないので構わないと思います。</p>
会長	<p>今のご意見を伺っていると、幾つも出そうな雰囲気になりそうな気がしてい ます。その中でどういう方向に持っていくのかというのは、ある程度その資料</p>

	<p>が出た段階でまた委員の方にお考えいただいて、それからまた考えていくようにしたほうが良いと思います。</p> <p>3つに絞り込んで集約されたときに、地域と子どもの意見を聞いてそのうち1つを選びましょうというやり方が本当に可能かどうかということも考えなければいけないと思います。</p>
教育改革推進課長	<p>会長のお話ですと、次ぐらいまでにトータル的に自分としてはこんなものがないんじゃないかというのを出示してもらって、それをこちら側で集計して、それに対するご意見を言っていた上でどうしようかということですか。</p>
会長	<p>そういう流れでいかがですか。</p>
教育改革推進課長	<p>そうしますと、次回の3月に、(開催の)1週間かちょっと前に一覧表をこちらでつくってお出しして、こういう思いでこうしましたということを書いてもらうみたいな形ですか。</p>
委員	<p>じゃあ、名前が出るんですか。</p>
会長	<p>名前はなくてもいいんじゃないですか。</p>
教育改革推進課長	<p>名前はなくても、こんな方向でということでも。個別具体的じゃなくても、例えば学園名と条例名を一緒にしたほうが良いとか、こういう形でという抽象的なものでも構わないと思います。</p>
会長	<p>でも、具体的にあまり出せない人もいるんじゃないですか。</p>
教育改革推進課長	<p>今おっしゃったように、分けて考えるんじゃなくて一緒にセットで考えたほうが良いというのは、例えば新しい名称は一緒にしたほうが良いとかいう具体的なものでなくても、考え方も構わないので、そういうものをお寄せいただけます。それをある程度こちらで集約して、場合によってはこの間是非公開にしても構わないと思いますので、そういった形でとりあえず出していただくというのは取っかかりとしてはいいのかもしれない。</p>
会長	<p>可能な限り具体例を出していただきたいけれども、そこまで考えつかないとかいろんな意見を聞きながら決めていきたいということであれば、いま課長から説明があったようなことを書いていただければいいと思います。そういうことでいかがでしょうか。よろしいですか。</p> <p>日程的に大丈夫ですか。</p>
教育改革推進課長	<p>日程的には皆様方に考えていただく時間で、こちらはお出しいただいたものをただまとめて、一覧表にしてお出しするだけです。</p>
委員	<p>それは参考ですか。</p>
会長	<p>参考です。そういう案が出てきて、こっちのほうがよかったとかあると思います。</p>
委員	<p>このことは9月の第10回に推進課長が詳しく説明しているわけです。議事</p>

	<p>録に書いてあるわけで、5通りの決め方があるし、学校教育法では中高一貫は学校としていいけれども、小中一貫は教育法に載っていないから、小中学校の場合はそれぞれの学校ごとに卒業証書を出さなければいけないわけです。学園名とするのか、小学校は新泉と和泉が2つあって一緒になるわけだから、その点を考えていきます。</p> <p>決め方については5通りあると、推進課長から既に説明されているわけです。それをよく読んで考えてみれば(学校名は)出ると思います。それは9月で、もう4カ月もたっているのにまだこんな話をしている。</p> <p>議事録の17ページから18ページぐらいに、3ページを使って詳しく書いてあるので、それをよく読んでもらって。条例上、卒業証書を出すときには学園名では出せないわけで、中学校と小学校です。教育法では中高一貫はいいそう、小中一貫はないんだから。推進課長がかなり詳しく説明してくれています。</p>
会長	<p>そうですね。名称に関してはいまお話があったとおりですので、3月までにアンケートをとって出していただくということによろしいですか。</p>
教育改革推進課長	<p>皆さんにお寄せいただいたものをまとめたものを出して、その中でそれを踏まえながらご説明させていただいて、5パターンの中でおおむねどういうふうにしていくかをそれぞれ当てはめていくような形によろしいですか。</p>
委員	<p>5つの決め方もものすごく広い範囲で決めるのか、ある程度絞るのか、それぞれア、イ、ウ、エ、オの5通りで、決め方についてこういう方法がありますということを行っているわけです。</p> <p>ものすごく広げて、杉並区じゅうから集めたらどうだという意見もエかオの中にあります。課長がそういうことを既に9月に説明しているじゃないですか。</p>
会長	<p>そういうのも含めて入れますか。決め方についてどうしていくのかということも書ける場合は書いていただくと。そういう様式で。</p>
教育改革推進課長	<p>まず決め方はどれがいいかということと、あとはもし個別があれば個別のものと、なければどういう方法でというのをお書きできるような形でお送りさせていただきます。3月中旬ぐらいまでにそれを送り返していただくような形によろしいですか。</p>
会長	<p>それでは、今のような形で進めたいと思います。よろしくをお願いします。</p> <p>次は、議題2で特色ある学校づくりの報告です。この件に関しましては、プレゼンテーションで教育委員会に説明しています。校長3人でプレゼンをやるので、よろしくをお願いします。</p>
副会長	<p>これは小中一貫校についてのプレゼンテーションではなく、あくまでも小中一貫教育を来年度進めるに当たってこんな特色を持ってやっていきたいとい</p>

うことで、27年度を見据えて、教育委員会にプレゼンテーションをしたものです。こんなことしかやらないのと思わないでほしいと思います。来年度についてはこう取り組みますということで行きます。

それでは、これから新泉小・和泉小・和泉中学校による新泉・和泉地区小中一貫教育の特色ある教育活動についてのご説明を行います。

新泉・和泉地区の特色ある教育活動のテーマは、未来への確かな力と夢をはぐくむ小中一貫校です。特に一体型の校舎を踏まえて、新たな教育課程の変遷と連携の充実に取り組んでいます。

そのために連続したカリキュラム、連携した教科指導、連続したキャリア教育と生活指導を中心に、学校支援本部、学校図書館の連携を図り、小中一貫教育校の基盤づくりを行ってきました。

初めに、23年度の取り組みとその成果についてご報告します。

第1に、平成27年度からの一貫教育校に向けて、9年間の教科カリキュラムを作成しました。今年度は国語、算数・数学、社会、理科、音楽、図画工作・美術、体育、英語について検討しました。

目指す児童像、生徒像を検討し、確かな学力と特色ある教育活動となるよう3校の教員が1年をかけて検討し、専門的な教科の指導も講師から受けながら作成しました。2月に中間報告書を完成して、報告会をする予定です。

これはそのもとの原稿になっているもので、学校支援本部にも協力していただいているニュースレターをつくっているアシュさんにご協力いただいて、保護者にとっても新しい学校になるというカリキュラムをつくりかけている途中です。

第2に、学びの意欲と質を高める小中学校教員の指導の連携をしました。これまで同様、算数・数学、音楽、図画工作・美術、英語の教員の授業指導の定期的な交流と共に、今年度は区費の中学校研修教員による国語の授業指導の定期的な交流、技術科教員による授業支援も行いました。

また、兼務発令といって、小学校でも中学校でも教えていいですよという東京都からの発令を全員の教員が受けました。兼務発令を出し、いつでもだれでもが協力して指導できるようにしました。さらに、互いの指導力を高めるために3校が集まったの研究授業を3回、実技研修会を2回開催しました。

第3に、小学校5、6年生による教科担任制や小中学校教員の交換授業では、専門的な授業を進めることで授業の質の向上につながっています。本年度は全教員の兼務発令を受け、いつでもだれでもが協力して授業ができるようにし、これまで以上に理科、社会、音楽、図工・美術、英語の授業の指導交流など、確実に日常化してきました。さらに、中学校体育科教員による専門的な指導も実施し、効果を上げました。

	<p>写真にある向こう側のハードルを飛んでいるのは、小学生を教えている和泉中の勝又教諭です。</p> <p>というような形で行ったり、区費で中学校に配置されたタカギ先生による国語の授業など、さまざまな教員の取り組みを行ってきたところです。</p> <p>第4に、小学校同士の児童の交流や合同授業の実施です。小中一貫教育校になるためには、2校ある小学校が仲よく1つになっていくことがとても重要になってきます。</p> <p>開校までの4年を計画的に進めていくため、本年度は6年生は毎月、5年生は学期に1回、1年生から4年生は行事等を活用して学校や学級の枠を外して、一緒に事業や活動をしてきました。成果として、児童はとても仲よくなってきています。</p> <p>これは6年生が自分たちでつくった俳句を、名前を隠してこの俳句がいいねといった句会の様子。</p> <p>そして、算数の問題に挑戦というのは、和泉小と新泉小の子どもたちがクラスを全部解体して、3人の先生に分かれて、新泉小の子どもたちも和泉小の先生に教わるというような形で進めてきています。</p> <p>こちらは1年生の名刺交換会といって生活課の学習を一緒にしたものと、芝生で2年生と一緒に遊んだ取り組みの1つです。</p> <p>また、小中学校の児童、生徒の交流も一層進めました。昨年度までの交流に加え、中学校生徒会が7月に小学校を訪問し、6年生児童に中学校の説明も行いました。子どもたちが背筋をぴんと伸ばしながら大変立派に説明してくれる姿に教えた教員たちもうれしい思いをしながら、生徒会訪問が実施されました。</p> <p>3人で分担してやりますので、ここでメンバーチェンジをします。</p>
委員	<p>では、キャリア教育の充実及び生活指導の共通化ということで、キャリア教育の推進プログラムを実施してきました。</p> <p>系統的なキャリア教育の推進は、地域で学ぶ子どもたちにとっても大きな課題になります。学校支援本部さんにもご協力いただいて、赤ちゃん抱っこプロジェクト、保育園・幼稚園の体験、職場体験を行い、さまざまにほかのこともやっています。また伝統文化のことも、杉並能楽堂へ行ってやっています。</p> <p>生活指導の共通化ですが、生活指導ではあいさつ運動、言葉遣いなど、3校での共通した取り組みを行っています。やり方は各学校で工夫していますが、それを徹底しようということで一緒になってやっています。今後も小中一貫教育の特色として取り組んでいきたいことだと考えています。</p> <p>次に、連携型学校図書館です。連携型学校図書館では、今年度から3校に学校司書が配置されました。読書活動推進のために3校の教員及び学校司書が一</p>

緒になり、小中一貫教育校のための推薦図書リストを作成しました。児童、生徒へ読むように指導しているところです。小学校でも中学校でも推薦図書をつくただけでは子どもたちは読みませんので、その本も十分用意して読む指導を行っています。司書さんたち同士も新校への蔵書のこと視野に入れて、情報交換や選書を行うなど、大きな成果となっています。

さて、小中一貫教育の基本設計の見通しが立ち、ハード面では具体的な姿が見えてきました。平成24年度は肝心のソフトの部分、教育内容の充実を図るために、小中一貫校への移行に向けた新たな教育課程の編成と連携の一層の充実を図っていききたいと思います。

そこで小中一貫教育基本方針として、5つの大きなものを挙げました。小中一貫の9年間のカリキュラムの作成。学びの意欲と質を高める小中学校教員の指導の連携。先ほどもありましたが兼務発令をしている、それから小学校では教科担任制をできるだけ取り入れていくということです。学びの意欲を高める特色ある教育活動としては、区の施策でもありますが、言葉の教育を充実させていく。もちろん1年生から英語教育をきちんと進めていくという、9年間の流れをつくっていくということです。学習情報センターである図書館による主体的な学びの形成を行っていきます。先ほどお話しした、キャリア教育及び生活指導の共通化と進路指導の充実。その5つを大きく挙げ、さらに児童、生徒の交流によるよりよい理解と、保護者、地域への小中一貫教育の理解を推進させていくことが出ています。

それでは、それぞれの説明を行っていきます。第1に、小中一貫教育校の9年間のカリキュラムの完成です。しっかりとした教育の柱をつくるのが来年度の最も大きな取り組みと考えています。特に本年度検討していない道徳、総合的な学習の時間、特別支援教育では学校や地域の特色を生かしたカリキュラムを作成していきたいと考えています。教科とあわせた新校のカリキュラムを製本・印刷し、地域や保護者への説明を行っていききたいと思います。

第2に、学力の向上になります。学びの意欲と質を高める小中学校教員の指導の連携ということで、教員の資質を高めることで学力を上げていこうということです。教員が兼務発令により定期的な指導や内容別の指導による連携を昨年以上に積極的に行い、学力向上につなげていきます。

学力向上と共に、体力についても中学校に研修派遣されている区費教員を活用しながら、3校の教員が連携して進めていきます。

そこで今年度も成果がありました理科のおもしろ実験教材費、重点的に取り組む体力について予算要望をしているということは消えています。そんなことを教育委員会のほうに伝えておきました。

続いて、学びの意欲と質を高める特色ある教育ということで、先ほど申しま

	<p>した言葉の教育と英語の教育を進めていきます。言葉の教育が今年度は小学校だけだったんですけれども、4月からは小中学校とも全面实施となります。小中一貫教育の特色としてもこれを位置づけ、取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>また、地域にある杉並能楽堂に和泉小学校は昨年初めて参加させていただいたのですが、大変すばらしい舞台でした。そこで演じられる狂言は重要文化財指定を受けているもので、4年生と5年生の子どもたちが行ったのですが、本当に反応よくしっかり聞いて、いいものを味わってきました。本年度もぜひこれを続けていきたいと考えています。</p> <p>私のほうからは以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>これは本来予算要望のためのもので、金額などは抜いてあります。</p> <p>学校図書館の活用と読書活動の推進です。3校に学校司書がそれぞれ1名ずつ配置されました。読書活動の充実もかなり図られていますし、図書の貸し出し冊数自体もふえているということで、子どもたちに読書が定着し、向上しつつあると考えています。</p> <p>特に9年間で100冊の本に出会うということで、小学校と中学校で推薦図書を作成しています。推薦図書をたくさん購入して、子どもたちがすぐ手にとって何名も読めるようにしたいということで、どうなるかわかりませんが、お金ちょうだいという話をしました。</p> <p>それから、前にも話をしたかもしれませんが、将来的に3校で読書感想文のコンクールをやったり、新泉・和泉地区で書評会を。書評座談会を中学生はやっているんですけれども、課題図書を読んでそれについて意見を交換し合っていくと、地域の子どもの学力向上につながっていくと思います。</p> <p>次はキャリア教育推進プログラムの実施です。小学校では弟子入り体験、5年生の赤ちゃん抱っこプログラム、保育園・幼稚園活動体験、中学2年生の職場体験、小学校でも実施している人生の先輩から学ぶ進路指導、地域で学ぶ機会の充実ということで、新泉・和泉地区の小中一貫校をキャリア教育の1つの柱としていきたいと思っています。</p> <p>今年度は中学校でも起業家体験に取り組んで、1年生がタオルをつくって販売しました。和泉小学校はランチバックをやりましたけれども、そのよしあしは今後考えていって、よりよいカリキュラムを作成したいと思っています。</p> <p>児童、生徒の交流によるよりよい理解ということで、これはお金をかけていません。小中学校の日常的な交流で、和泉小学校と和泉中の間のフェンスがなくなったので、和泉小のお子さんが火曜日と金曜日にうちの校庭に遊びにきていました。今は試掘をやっているので、できなくなりましたけれども。</p> <p>それから、試掘をやっているので、本校の部活動で和泉小の芝生でできるも</p>

	<p>のは和泉小に行って放課後すると。土曜日中心ですけれども、新泉小をお借りして野球、ソフトテニスをお願いしているところです。</p> <p>昨年からですけれども、全校の和泉小でのお弁当給食。昨年よりも今年のほうが、子どもたちの交流は深まってきています。</p> <p>それから、小小の学年交流。先ほどもありましたけれども、1年生から4年生までは遠足と一緒にいくと。5～6年生は本年度と同様、授業を一緒に行うことと移動教室と一緒にいくということで、来年取り組むことになっています。</p> <p>中学校の授業及び部活動への参加については、今年度と同様に進めたいと思います。</p> <p>最後に小中一貫教育のニュースレターの発行ということで、今ちょうど最後のまとめをつくっているところです。今年度、各教科でこういう活動をしたから、子どもの意見や事後のアンケートでこういうふうになりましたということなるべく載せましょうということで作成しているところです。1年間やった成果と課題がわかるようなニュースレターにしようと。佐野先生、いつできるんですか。</p>
委員	8日に報告会をさせていただくので、7日にはでき上がってきます。
会長	<p>その後、各家庭に配らせていただくこととなりますので、よろしくお願ひします。未来への確かな力と夢をはぐくむ小中一貫校ということで、今後より活動を充実させていきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。以上です。ご清聴ありがとうございました。(拍手)</p> <p>この件につきまして、何かご意見とかご質問はありますでしょうか。</p>
副会長	<p>これはあくまでも来年度の取り組みの一端であって、新校まで全部がこれではないということをご理解ください。</p> <p>例えばICTはどうかということ、ICTにも取り組んでいるんですけれども、特色として一時的にやるというよりはそれぞれの学校で努力していこうとか、さまざまなものと組み合わせながらお金をちょうだいねという部分のプレゼンをつくっていますので、ご理解いただければと思ひます。</p>
会長	何かご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。
教育改革推進課長	<p>制度の仕組みなんですけれども、いま校長先生から来年度の予算を獲得するためにということでお話がありました。別枠として今年度は年間1,800万円ほど設けていまして、各学校からこういうことに取り組みたいというプレゼンテーションを教育長の前でしていただきます。教育委員会事務局の管理職とそちらを見てある程度評価して、66校ありますので単純にすべてのところに均等にするのはなくて、内容や取り組みによって予算を決めて払わせていただくという制度です。</p>

	<p>ただ、小中一貫教育に関しましては、今回かなり多くの学校からそういう提案が出てきましたが、新泉・和泉地区は平成17年からやっている杉並区の小中一貫のリード校、モデル校になっているので、教育長も当然そういうスタンスでやってほしいということで厳しい目で見られています。金額は別にしまして、予算的には一定程度は大丈夫だと思いますけれども、そういう方向で来年度も取り組んでいただくというものです。</p>
会長	<p>ご質問はよろしいですか。特になければ、これは3校の取り組みということでまた充実させていきたいと思しますので、よろしくをお願いします。</p> <p>それでは、次は議題3「小中一貫教育校建設に係る工事スケジュール等について」ということで、報告をお願いします。</p>
教育改革推進課長	<p>スケジュール表に基づきましてご説明させていただきます。こちらもだいぶスケジュールが固まってきましたので、具体的に工事の関係でグラウンドですとかと、使える校庭がどうなるかというのは関心が高いところなのでまとめさせていただきまして、現段階でのスケジュールをご説明させていただきたいと思えます。</p> <p>2012年1月から3月にかけて予備調査という形で埋蔵文化財調査を行っています。何も出なければ予備調査で終わって、すべて済みますので、望むべくは昔の遺産などが出なければと願っているところです。もし歴史的にすごく価値のあるものが出てしまうとストップしてしまうので、27年度までどうかというようなものが出なければと思います。予備調査で何か出てしまった場合、それを詳しく調べる期間として来年3カ月半ほど本調査をしなければならぬ形になります。</p> <p>具体的には、遺跡の調査を除きますと、25年6月までは現行どおりお使いいただく形になります。25年7月ぐらいから、具体的に改築部分についての工事が開始します。真ん中に「工事用仮囲い」とありますけれども、きっちり真っすぐではなくて、一部和泉小学校のほうに工事関係者の事務所がありますので、もうちょっと食い込む形になります。一応25年7月から11月まで、新しく改築するところにつきましては囲いをしながら、順次工事をしていくような形になります。</p> <p>具体的に和泉中学校の工事をする前に、和泉小学校のプールを解体しなければなりません。そちらにつきましては、平成25年12月から小学校のプールの解体工事に入らせていただく形になります。図で言いますと、3つ目になります。</p> <p>その際は解体用の工事車両が入りますので、和泉小学校側から搬入路があり、今の和泉小の門になっているところをもう少し広げるような形で、こちらのほうからトラックを入れて工事をします。この範囲で、和泉小学校の使える</p>

	<p>校庭の面積がかなり縮小する形になります。中学校の生徒さんにも一部小学校を使っていただきますので、中学校からストレートで行けるような形で囲いを工夫していきたいと考えています。</p> <p>具体的に25年12月から27年3月にかけて、いま川沿いにふたをして東京都が護岸工事をしていますけれども、それを先取りさせていただいて、構台と言いまして、なるべく児童の通学に支障がないように、できる限り井の頭通りから川の上にトラックを通して工事に入るような形を考えています。そういう方向でできるところはして、具体的に25年12月からのプールの解体につきましては、和泉中の既存の校舎はそのまま残しますので、和泉小学校北側からトラックが入るとともに、南側は井の頭通りから改築部分の工事をします。基本的に27年3月ぐらいまで、こういった囲いがされた状態が続くという形になります。</p> <p>25年12月から26年3月まで、中学校の方には多少ご迷惑をおかけしますが、26年4月から27年3月にかけては和泉中学校の大規模改修に入りますので、中学校の生徒は1年間新泉小学校に移っていただき、小中一貫教育の先取りをしながら、和泉小学校はこのまま残ります。校庭が狭くなりますけれども、こういった中で活動いただくこととなります。</p> <p>具体的に27年4月に校舎ができます。27年2月下旬ぐらいで工事が終了する予定ですが、左から4つ目の図で、今度は和泉小学校解体工事に入りますので、工事用仮囲いをさせていただきます。北側が使えなくなりますので、この間も代替のグラウンドとか近隣の学校をお借りしながら、ご迷惑をおかけしますが、こういった中で工事をさせていただきます。</p> <p>芝生化が図られますので、和泉小学校を解体してから土壌の改良等をしてしながら、芝生とクレーの部分に分けた工事をします。ほぼ丸1年間校庭整備にかかってしまう形になります。</p> <p>現時点では、こういった中で具体的に和泉中学校の校庭部分が25年4月から使えなくなってしまうことと、小学校部分についても工事車両の関係で安全面から囲いをする形になりますので、校庭面積が若干狭くなります。27年4月まで、校庭整地を考えますと28年3月まで皆様にご迷惑をおかけするような形になりますけれども、現段階ではこういう予定で考えています。</p>
会長	ご質問等はありませんでしょうか。
委員	最初の工事のトラックの搬入路は神田川の上を仮設してということですが、一番上に「東京都と協議中」となっています。断られることはあり得ますか。
教育改革推進課長	協議のほうは東京都のほうでオーケーということで、あとは予算の関係だけなので、基本的にはこのまま進めていきます。
委員	左から2番目の25年7月から11月の図ですけれども、工事用の仮囲いが

	<p>小学校の校舎ぎりぎりまで行っています。今はプレハブみたいなものが幾つか建っていて、PTAの部屋があるんですけども、そこは取り壊してしまうという感じですか。</p>
小中一貫教育 担当係長	<p>あの辺は非常階段も含めて取ります。</p>
教育改革推進課長	<p>和泉小学校は非常階段だけ取りつけの場所を変えるような形になります。</p>
委員	<p>手前の倉庫とかも全部なくなっちゃうのですね。芝刈り機とか入っている倉庫もあります。</p>
小中一貫教育 担当係長	<p>移設するようになると思います。</p>
会長	<p>ほかにいかがですか。</p>
委員	<p>どうでもいいことですが、2番目の地図から新しくつくる小学校部分が改築部分となっています。私なんかは新築じゃないかと思いますが、どうして改築なんですか。</p>
教育改革推進 課長	<p>用語の言い方として、基本的に今あるものにつきましては改築工事と言っています。言い方の問題だけで、全くないところに新しい学校をつくるのは新築ですが、ある学校を変える場合は改めてつくるということで改築と言わせていただいています。</p>
会長	<p>ほかにいかがですか。</p> <p>まだだいぶ先のことでですけども、27年度に開校したときに和泉小側はずっと使えないわけですね。そうすると校庭がない状況ですので、運動をやる場所だとか運動会をする場所は考えておかないといけませんね。</p>
教育改革推進 課長	<p>その辺につきましては近くのところを借りる場合と、あるいは大きなところということで武蔵野のグラウンド場を借りたり(する場合があります)。日常的な体育や部活動の問題と、大きなイベントについてはこちらのほうで予算措置をしながら、時間的なことはお願いせざるを得ないのですが、場合によってはバスで行き来するような形での予算化はしますので、ご協力をお願いしたいと思います。</p>
会長	<p>いかがでしょうか。</p>
委員	<p>工事予定が出てきましたので、それに伴って移転するものとか木をどうするかというのは、具体的にこれから学校と詰めていくということによろしいでしょうか。</p>
教育改革推進 課長	<p>これから実施設計に入っていきますが、そのときに残したい木、切ってもいい木を確認しながら、大きな木はなるべく残すような方向でこれからお聞きしながら決めていくことになります。</p>

会長	残したい木というのは、その場所にとということですね。動かすことはできないのですね。
教育改革推進課長	その場所か、移設する場合があります。永福小でもけやきの木を最初に移設するというお話をして、見積もりをとったら1本1,000万ということで、それはちょっとできないということで2本だけ切らせていただきました。可能な限り、大きな木はなるべく移設してできる限り生かすような方向で考えています。 学校によってシンボルツリーみたいなものがあり、そこだけは切らないで残してくれという要望はよく上がってきますので、ここの学校でそういうものがあるかどうかも含めて、これからお聞きしながら進めていくことになります。
会長	いま言ったようにかなりお金がかかるので、よっぽどのことがなければ基本的には移設は難しいと思います。
教育改革推進課長	本当のシンボルツリーで、開校のときに人が植えたのでぜひ残してほしいとか、特別な思いがあるものはこちらでもいろいろ考えます。既存の樹木はなるべく残すような形で考えていますけれども、どうしても切らざるを得ない木もありますので、その辺は学校と相談しながら適宜進めさせていただきたいと思います。
会長	仮にあつたら、学校のほうと相談ということですね。 ほかにいかがでしょうか。
委員	和泉小の工事日程ですが、環境整備工事が10月から3月ぐらいまで引っ張られています。多分、和泉小の校庭の芝生の工事をするとなると一番最後の工程になると思うので、2月とか3月に芝張りをすると定着するのに結構時間がかかって、4月から校庭を使えるかという和多分使えないと思います。養生期間があって、もうちょっと使用が後ろにずれる可能性があるので、その辺を頭の隅に入れておいていただければと思います。
教育改革推進課長	解体と共になるべく早めに土壌を整備して、芝生だけ前に送ったほうがいいですか。
委員	1カ月、2カ月前に倒しても、真冬になってタイミング的には余計悪くなっちゃいます。本来だと杉並の工事は8月の夏休みということで、芝生の生育が一番いいときに工事をしているんですけども、この日程からするとそれは多分難しいと思います。 張るんだつたら3月に近いほうがいいですけども、夏より少し多めに貼着させる時間を設けておかないとすぐだめになっちゃうと思います。
教育改革推進課長	その辺は具体的なことになりますといろいろご相談させていただきながら、スケジュール的なものを含めて土壌をどうするか。この前来ていただいたとおり、みどり公園課ともいろいろ相談をしています。

	高井戸小学校は多分10月に植えたんですけれども、結構根づいていまだに頑張っています。
委員	10月くらいだときりぎりサーフですね。 2期に分けて入れていると思います。10月にやって、冬休みか春休みぐらいにまたやっています。全面を冬場にやると、ちょっときついと思います。
教育改革推進課長	解体工事をなるべく早めに終わらせて、芝生を10月ぐらいにできるように設定すればということですね。
会長	よろしいでしょうか。工事期間はかなりいろいろハンディがありますけれども、それを乗り越えていかなければいけないですから、またよろしく願います。そのほか、何か事務局からありますでしょうか。
教育改革推進課長	冒頭でもお話しさせていただきましたけれども、本日お配りした資料は先ほどのとおり完成しました協議会の中間報告と協議会ニュース第4号、ニュースレターです。 これからですが、杉並区の教育委員会にこちらの基本設計の話をして、2月の終わりに区議会にもご報告した後、3月に地域の方々にまちづくり条例に基づき意見聴取を行います。またどちらかの学校の会場をお借りしながら、今後の工事概要の説明をさせていただくような日程になっています。 今度新しくできる学校の立体図を日本設計さんにつくっていただきました。終わりましたら真ん中のほうに置かせていただきますのでごらんいただいて、それについてもご意見等があればまたいただければと思います。 次回の13回の協議会ですが、先ほどの日程ですと3月中旬ぐらまでに校名、校歌のご意見をいただくとなりますと、PTAの方々の改選もありますので、3月下旬に入れさせていただきたいと思います。学校のご都合や保護者の関係で特になければ、3月下旬で日程調整させていただきたいと思います。 では、学校の校長先生方と相談して日程調整させていただきますので、できる限り皆様からいただいたご意見について3月にいろいろお話をさせていただきたいと思います。また、開催間近になりましたら、改めまして開催通知をお送りさせていただきます。私のほうからは以上です。
会長	今の事務局からの説明で、何かご質問等がありますでしょうか。次回の会場は新泉小学校ですか。
教育改革推進課長	新泉小学校になりますので、よろしく願いたいと思います。
会長	それでは、ほかにご質問がなければこれで本日は終了したいと思いますですが、よろしいでしょうか。では、本日はこれで終了させていただきます。どうもありがとうございました。